

福井工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	先端材料工学	
科目基礎情報							
科目番号	0068		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	環境システム工学専攻		対象学年		専2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	なし（プリント等配布）						
担当教員	安丸 尚樹,米田 知晃,山田 幹雄,常光 幸美,高木 邦雄						
到達目標							
(1) 先端材料の基礎知識を習得し、社会との関わりや産業界での取り組みの現状を理解している。（JB3） (2) 自ら新規に材料に関するテーマを設定して調査し、レポートにまとめ、プレゼンテーションする能力を有している。（JB3, JD2）							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	先端材料工学における基礎知識を十分に習得し、様々な問題を解決するために応用できる。		先端材料工学における基礎知識を十分に習得・理解し、演習問題を解くことができる。		先端材料工学における基礎知識が習得できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE JB3 JABEE JD2							
教育方法等							
概要	本科目は融合複合型の「環境生産システム工学」教育プログラムの中の「他の技術分野を積極的に吸収して、持続可能な社会の構築を意識したものづくりのプロセスに関する」科目です。 近年産業界での新産業創出に向けた先端材料に関する期待は大きく、国内ではこの分野の産官学連携プロジェクトが多数進行している。本講義では、技術開発のキーテクノロジーとしての先端材料の意義を解説し、先端高機能材料（先端合金、ナノエレクトロニクス材料、リサイクル材料、燃料電池材料等）の基礎知識や加工技術を学習し、併せて新しい課題・分野に挑戦する能力及びプレゼンテーション能力の育成を目指す。なお、企業の技術士による講義を通し、先端技術に関する産業界の現状を認識し、エンジニアとして社会に出る際に必要な知識を学ぶ。						
授業の進め方・方法	先端的な内容を含んだ教材を利用し、分かりやすく興味を持って学習できるようにする。県内企業の技術士による講義、福井県に関連した技術や産官学共同研究、国家プロジェクト等の内容を含める。なお、最終的に、自分で先端材料に関する課題を設定して調査・考察し、ワードファイルで提出する課題探求レポートを課す。また、その内容を発表させ、レポート部門・プレゼンテーション部門で審査し表彰する。						
注意点	環境生産システム工学プログラム：JB3(◎), JD2(○)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業概要、技術開発と材料		シラバスの説明、キーテクノロジーとしての先端材料、眼鏡枠業界の取り組みを説明できる。（安丸）		
		2週	先端合金		形状記憶・超弾性合金、超塑性合金を説明できる。（安丸）		
		3週	先端材料のレーザー加工		次世代加工ツール「フェムト秒レーザー」を用いた非熱微細加工を説明できる。（安丸）		
		4週	建設・リサイクル材料-I		ふしぎな土のお話し(Ⅰ)：黄鉄鉱含有土の挙動－その1を説明できる。（山田）		
		5週	建設・リサイクル材料-II		ふしぎな土のお話し(Ⅱ)：黄鉄鉱含有土の挙動－その2を説明できる。（山田）		
		6週	全固体電気化学デバイス		燃料電池の原理と種類を説明できる。（常光）		
		7週	燃料電池とバイオマス		燃料電池自動車と定置式燃料電池の開発を説明できる。（常光）		
		8週	ナノエレクトロニクス材料-Ⅰ		半導体材料を説明できる。（米田）		
	2ndQ	9週	ナノエレクトロニクス材料-Ⅱ		太陽電池を説明できる。（米田）		
		10週	ナノエレクトロニクス材料-Ⅲ		パワーデバイス材料を説明できる。（米田）		
		11週	マシニングセンタの高効率化と国際化		マシニングセンタと先端材料,ISO国際規格への対応 ISO9001、ISO14001、OHSAS18001を説明できる。（高木、安丸）		
		12週	3Dプリンターの現状と技術士について		金属光造形複合加工機と先端材料、技術士についてを説明できる。（高木、安丸）		
		13週	マシニングセンタの高性能化における問題点への対処、まとめ		問題発生時の対処を説明できる。、まとめを行う。（高木、安丸）		
		14週	プレゼンテーション-I		課題探求レポートのプレゼンテーションができる。		
		15週	プレゼンテーション-II		優秀者の表彰と再プレゼンテーション、まとめを行う。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	担当教員レポート	課題探求レポート	プレゼンテーション	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	30	0	0	0	100
基礎的能力	50	20	30	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0